なんぶ 議会だより

第48号
平成28年9月議会
11月臨時会
発行 平成28年11月30日

■ 新委員会構成・・・・・・・ 2
■ 定例会報告・・・・・・・・ 4
■ 平成28年度補正予算・・・ 7
■ 陳情・請願・・・・・・・・ 7
■ 一般質問ダイジェスト・・ 8
■ 西部町村議員研修会報告・・ 12
■ 発議案・・・・・・・・・・・ 13
■ 議会活動日誌・・・・・・・ 13
■ 法勝寺児童館・・・・・・・ 14
■ あとがき・・・・・・・・・・ 14

発行／南部町議会　〒683-0351　鳥取県西伯郡南部町法勝寺377-1　TEL0859-66-4804　FAX0859-66-4806
http://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/gikai/
編集／広報常任委員会　印刷／株式会社 高下印刷

新 委員会構成を紹介します

本会議場の議席配列で構成しています

【常任委員会（任期2年）】
- ○予算決算常任委員会（定数 14人）
- ○総務経済常任委員会（定数　7人）
- ○民生教育常任委員会（定数　7人）
- ○広報常任委員会（定数　8人）

議長・副議長【任期4年】
議会運営委員会（定数 6人）【任期2年】

◎委員長　○副委員長

⑫ 亀尾共三（かめお きょうぞう）	⑪ 井田章雄（いだ あきお）	⑩ 細田元教（ほそだ もとのり）	⑨ 景山　浩（かげやま ひろし）	⑧ 板井　隆（いたい たかし）	⑦ 仲田司朗（なかだ しろう）
総務経済 予算決算	**副議長** 総務経済 予算決算	民生教育 予算決算	○議会運営 民生教育 ◎予算決算 広報	◎議会運営 総務経済 予算決算	議会運営 総務経済 予算決算 ◎広報
⑥ 三鴨義文（みかも よしふみ）	⑤ 白川立真（しらかわ たつみ）	④ 長束博信（ながつか ひろのぶ）	③ 滝山克己（たきやま かつみ）	② 荊尾芳之（かたらお よしゆき）	① 加藤　学（かとう まなぶ）
議会運営 ◎総務経済 予算決算 広報	議会運営 ◎民生教育 予算決算 広報	○民生教育 予算決算 広報	○総務経済 予算決算 広報	民生教育 ○予算決算 ○広報	総務経済 予算決算 広報

【その他委員名簿】

監査委員	南部町・伯耆町清掃施設管理組合議会	南部箕蚊屋広域連合議会	西部広域行政管理組合議会	後期高齢者医療広域連合議会
細田元教	秦　伊知郎 細田元教 加藤　学 荊尾芳之	秦　伊知郎 真壁容子 細田元教 景山　浩	秦　伊知郎	細田元教

任期満了に伴う議会選挙で、新議員の顔ぶれが決まりました。10月31日に開催された初臨時議会において、議長をはじめ委員会構成が決まりました。

議長挨拶

議長
秦　伊知郎

町民の皆様には、日ごろより議会の活動並びに町政各般にわたり、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

このたび第7回臨時議会におきまして議長に再任され、身に余る光栄と責任の重さを感じております。

南部町が誕生し、早いもので12年の歳月が経過し、このたびは町長の交代という大きな節目を迎えています。

今後も各地域の特徴を大切に、福祉や子育て支援、教育の充実、移住定住への対応など、住民・行政・議会の力を結集し、魅力ある「まち」を目指していかなければなりません。

議会運営につきましては、広い視野に立ち、公正で円満な運営、住民から信頼される議会を目指し、努力する覚悟であります。

町民の皆様のご理解と、ご協力を心からお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

副議長挨拶

副議長
井田　章雄

この度、副議長に就任しました井田章雄です。その一端を担う責任の重さを痛感するところであります。

さて、本町は現在少子高齢化対策としていろいろな施策を打ち出して進めています。この様な状況のなかで、新しい町長、新しい議員構成になり、二元代表である一方の議会としてまた、車の両輪の一方として責任重大であると考えており、新たな意欲と抱負のもとに議長を補佐し、虚心担懐の気持ちで頑張ってまいります。

最後に、明るい住みよい元気で活力ある町づくりを目指して頑張ってまいりますので、ご理解とご協力をのご挨拶と致します。賜りますようお願いし就任

平成27年度決算 賛成9人 反対3人で認定 一般会計

9月定例議会

平成28年度9月定例議会が、9月8日から9月27日までの会期で開催されました。平成27年度の一般会計・特別会計の決算をはじめ、平成28年度の一般会計補正、条例の一部改正など21議案が審議され、3件の発議案を含め、すべて認定・可決されました。

討論

◎平成27年度一般会計歳入歳出決算

反対

①27年度収支決算で黒字の計上となった。これを全てといわないが、子ども支援や高齢者への暮らし支援に目を向けた施策が必要である。

②基金40億円は職員の削減によるもの。非正規職員の待遇改善や必要な正職員の採用を促すべきである。

③子育て支援策のうち、高校通学定期券購入支援策は税金等の滞納者には支援しないことは改善すべき。

④地域振興協議会の費用対効果について検証すべき。

⑤イメージ戦略事業の提案が採用されていない。本来の目的に沿う予算編成を強く求める。

賛成

①子ども・子育て支援策は婚活から子育て、誕生祝い金、住宅支援等様々な支援があり、充実している。

②正職員は専門性の必要な所に配置する必要がある。そのためには、外部委託によって確立できる。

③滞納者等の取扱いについては、どこの自治体でも同様である。納税に対する公平・公正には必要な規定である。

④地域振興協議会の設立10年を迎え、地域の問題解決と活性には地域住民にとって必要な存在となっている。検証するまでもなく、結果を出している。

⑤イメージ戦略は、これからの町づくりのヒントとなる外部からの提案である。今後の地方創生事業に夢と希望を抱いた、必要な提案であった。

27年度一般会計決算の認定採決結果（○賛成 ×反対）

会計名 ／ 議員名（議席番号順）	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田	亀尾	真壁
平成27年度一般会計歳入歳出の認定	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×

三世代同居支援事業

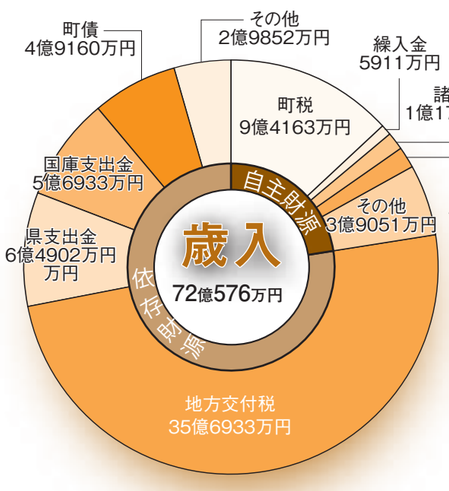
法勝寺電車展示場整備事業

水道統合事業（上野水源地）

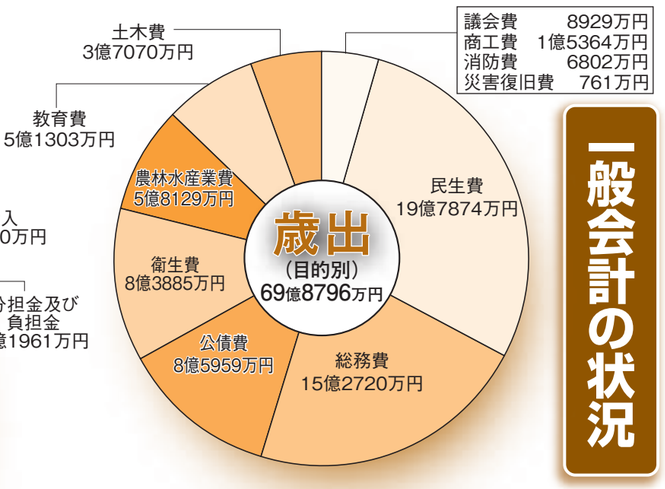
農業基盤整備促進事業

一般会計の状況

☆歳入72億576万円
（前年度比3億4,483万円増）



☆歳出69億8,796万円
（前年度比3億1,437万円増）



平成27年度の一般会計決算額は歳入72億576万円、歳出69億8,796万円で、この収支から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた実質単年度収支は1億6,976万円の黒字となった。

主な事業

- ○人件費（職員、特別職、議員、委員、非常勤職員）……10億5,385万円
- ○鳥取県西部広域行政管理組合……3億4,025万円
- ○地域振興交付金事業……5,386万円
- ○三世代同居支援事業……960万円
- ○CATV機器更新事業《デジタル化》（新規）……7,215万円
- ○南部町イメージ戦略事業（新規）……520万円
- ○地域しごと支援センター運営事業（新規）……592万円
- ○法勝寺児童館整備事業（新規事業）……2,142万円
- ○公設民営保育園運営事業……1億9,774万円
- ○後期高齢者医療給付金……1億3,831万円
- ○水道統合事業……1億3,647万円
- ○農業基盤整備促進事業（新規）……3,067万円
- ○多面的機能支払交付金事業……4,168万円

地域振興交付金事業
（南さいはく主催敬老会）

法勝寺児童館整備事業

平成28年度補正予算

賛成 9人 反対 3人で可決

歳入歳出総額に1億3,949万1千円を追加し、歳入歳出をそれぞれ、64億2,560万1千円とする。

討論

反対
町長・町議会選挙費用の補正予算で、これまで何度か議員からの一般質問で、会見地区への期日前投票所設置を求めてきたが改善されていない事は、大きな問題である。

賛成
会見地区への期日前投票所の設置については、選挙管理委員長から答弁があったとおり、投票所の立会職員、町民の確保が困難であるとの回答であった。この度は、ふれあいバスの運行で、投票を促す新しい対応もなされている。

【一般会計の主な内容】

	補正額(千円)	計(千円)
○ CATV伝送設備等更新事業(新規) (光伝送装置をハイビジョン可能な機器に更新)	9,663	9,663
○ 町長・町議会議員選挙費 (投票率アップを狙い、ふれあいバスの無料運行)	143	7,294
○ 不妊治療費助成事業	370	625
○ 病院事業費 (経営の健全化に、繰出基準に基づき支出する)	121,814	466,781
○ 農業集落排水事業特別会計繰出金 (天萬地区内歩道設置による、ポンプ移設工事費)	1,167	118,231

28年度一般会計補正予算の承認採決結果(○賛成 ×反対)

会計名 ／ 議員名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田	亀尾	真壁
平成28年度一般会計歳入歳出補正予算	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×

9月定例議会　その他案件の採決結果(全員一致)

案件名	主な内容		
税条例の一部改正について	消費税10%改正時の軽自動車税環境性能割りの変更等		
国民健康保険税条例の一部改正について	台湾との間の二重課税を排除する措置のため		
	主な内容	補正(千円)	計(千円)
平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算	統合医療推進事業等	2,481	1,550,481
平成28年度住宅貸付金事業特別会計補正予算	借り受者の期限前償還	2,886	4,636
平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算	ポンプ制御盤移設工事費等	1,296	248,996
		事業収益	事業費用
平成28年度病院事業会計補正予算	認知症対策補助金等	2,511,382	2,482,581

陳情・請願

あなたの陳情の結果を報告します。

案件名	提出者	可否	発議
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長　西村　裕生 南部町職員労働組合 執行委員長　加納　諭史	採択	国へ意見書を提出する。
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度２分の１復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	鳥取県教職員組合西部支部 支部長　藤本　敏秀 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長　岡島　恒志	採択	国へ意見書を提出する。

その他の会計報告(全員一致)

会計名(決算)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)
墓苑事業特別会計	186	186	0
太陽光発電事業特別会計	7,454	7,451	3
在宅生活支援事業会計	3,423	3,000	423

(太陽光発電特別会計)

鶴田の太陽光発電施設の売電収入は予算以上の7,414万円で27年度に6,540万円の基金を積立て、売電開始2年間で1億1,540万円の積立金額となった。

主な特別会計決算認定の討論

国民健康保険会計

(反対)
国から町への一人当たり5千円の支援金の使い方の説明がはっきりしていない。県内の半数の市町村は引き下げを行っている。高いといわれる国民健康保険税を軽減すべきであった。

(賛成)
今年度決算で2,763万円の繰り越しが出来た。この中には国からの国保財政安定支援金も含まれた金額である。国保運営協議会で28年度の保険料は据え置きとなった。一時的な支援より長い保証も必要である。

農業集落排水事業会計

農業集落排水処理場(会見)

(反対)
収入未済額が780万円ある。原因は利用料金が高すぎるためだ。公共料金の負担を感じる町民も多く、所得に応じた減免制度も必要であると感じている。

一般会計からの繰り入れをもっと増やすことを主張する。

(賛成)
一般会計から1億933万円の繰り入れ、使用料の7,126万円で収支バランスが保たれている。本来、特別会計は使用料で収入を得て、その中で支出を行うことが健全な姿である。

これ以上の一般会計の負担は困難である。

浄化槽・公共下水道事業会計も同様な討論でした。

西伯病院会計

西伯病院

(反対)
今年度赤字が出たのは患者の減少が原因と思われる、医師を含む職員体制の充実が必要であると感じた。

更に、自治体病院への補助金で県からの補助金交付要綱に基づいた町の補助金が支出されていない事が赤字計上の原因である。

(賛成)
職員の充実は必要であるが、現状として困難な状況にある。

病院経営は独立採算が基本であり、これまでも必要な時に、繰り出し基準の範囲内で補助金を交付している。

平成27年度 特別・水道・病院事業会計決算の認定採決結果(○賛成 ×反対)

会計名(決算) ／ 議員名(議席番号順)	歳入(万円)	歳出(万円)	差引額(万円)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田	亀尾	真壁
国民健康保険事業特別会計	158,733	155,970	2,763	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
後期高齢者医療特別会計	12,333	12,302	31	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
住宅資金貸付事業特別会計	537	215	321	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
農業集落排水事業特別会計	23,970	23,904	66	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
浄化槽整備事業特別会計	5,295	5,243	52	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
公共下水道事業特別会計	17,919	17,904	15	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
水道事業会計歳入歳出	23,004	22,674	330	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
病院事業会計歳入歳出	243,740	247,174	△3,434	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×

あなたの声を 一般質問 行政に問う!

【質問の通告】
一般質問は、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定められている。
町民皆様の声を行政に問います。

平成28年9月定例議会一般質問通告

	議員名	発言時間		質問事項
1	白川立真	20	1	これまでの町政における中・長期的ビジョンについて
			2	教育基本法改正にともなう我が町の教育ビジョンについて
2	三鴨義文	20	1	小さな拠点づくりについて
			2	農業用ため池の維持管理について
3	植田　均	30	1	水道料金問題を問う
4	板井　隆	20	1	カントリーパークの施設整備について
5	景山　浩	20	1	教育政策の成果と課題について
6	真壁容子	30	1	地域振興区制度を問う
			2	「ゆうらく」の無償譲渡問題を問う
			3	保育園の民営化問題を問う
7	亀尾共三	30	1	子育て支援の拡充を問う
8	細田元教	30	1	町長職の総括について
			2	東西町のコンビニエンスストア閉店について

教育ビジョン　白川立真議員

Q わが町の教育ビジョンは

A 地域から学び「人間力」を養うこと　教育長

白川　GHQ占領下に施行された教育基本法は、およそ60年ぶりに改正された。この改正は、現代社会を生き抜く子どもたちへの強いメッセージを感じる。

教育基本法の改正は南部町の教育ビジョンに、どのような影響を与えたか伺う。

また、今日の教育ビジョンはどのようなもので、今後、どこに向かうか伺う。

教育長　この改正は時代とともに社会が変化する中で子どもの基礎的な人間力が総合的に落ちてきた事によるものだ。本町発足以来、約12年間にわたりコミュニティースクールなど、学校、地域、家庭が連携する取り組みを進めてきた。さらに、保・小・中の連携を強化してきた。

これは、改正教育基本法に基づく新たな方向をにらんでの一手である。

今後の方向性は、未来を生き抜くために必要な力を身につけさせる視点が重要である。

こうした力の育成を目指す「まち未来科」の学びを学校教育のなかに、しっかりと位置付ける。さらには、グローバル人材の育成について施策的に弱かった分野であり、充実が求められていると考えている。

なんぶ創生総合戦略　三鴨義文議員

Q 小さな拠点づくりについて

A 地域振興ビジョンの策定と2つの拠点整備　町長

三鴨　なんぶ創生総合戦略に掲げられている小さな拠点づくりは、地域の交流の場として大変有効な施策であると考えている。今後の計画ではどこでどのようなものを考えているか。

里山デザイン機構や地域振興協議会はどう関わっていくのか。

地元、地域への計画提案はいつか。

町長　平成31年度までに2つの小さな拠点を整備する。

一つ目は、高齢者を中心とする地域の交流や支え合いの拠点として東長田会館の改修を行った。

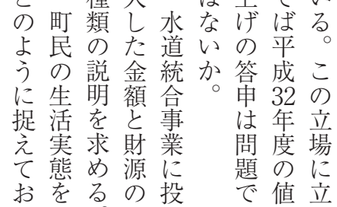
引き続き南さいはく地域振興協議会を事業主体に地域振興ビジョンの策定をしていただく。

二つ目は、平成29年度に他の地域振興協議会で検討をし、どのような地域にしていくのか、将来ビジョンを地域で策定していただくことにしている。

また、南部町が進める生涯活躍のまちづくりの中で、賀野地区には地域住民が集い交流できるような拠点の検討をお願いしている。

里山デザイン機構には、拠点施設に使える空き家の紹介、地域振興協議会には、拠点施設の活用方法など、地域での議論の中心的な役割を担っていただきたい。

こうした取り組みの計画提案の時期については、はっきり決めてはいないが、まずは地域でそういった拠点が必要だという機運が高まることが必要だと思っている。


賀野地区で検討中のえぶろん

水道料金改定　植田　均議員

Q 料金値上げは福祉向上に逆行

A 審議会答申で住民説明を　町長

植田　今回取りまとめられた、水道料金審議会答申の説明を求める。水道事業は費用のほとんどが住民負担で賄われている。しかし、地方公営企業法の第3条には「その本来の目的である公共の福祉を増進しなければならない」としている。この立場に立てば平成32年度の値上げの答申は問題ではないか。

水道統合事業に投入した金額と財源の種類の説明を求める。

町民の生活実態をどのように捉えておられるのか、水は生命を維持するために欠くことのできないものであり、町民の声をよく聞き、対話し、慎重のうえにも慎重に結論を出さなければ、町政に禍根を残すものと考える。

町長　今回の答申では料金改定を平成29年度と平成32年度の二回を予定する段階的な改定である。平成29年度は会見地域の一般用の水道料金に統一し、平成32年度には一カ月20トン使用時で税抜き498円値上げ、30トン使用時で868円の値上げとなる。この値上げで水道事業の経常収支の不足額の約半分程度を補うものとしている。

平成24年度から平成27年度にかけて国の補助事業で9,100万円、一般会計から4億5,800万円を繰り入れ、総額5億4,900万円で水道統合事業を行った。

町民の生活実態については、平成28年度の町民税非課税の方は4,367人で、課税対象者9,574人の45・6%である。このような方については、各種減免制度があり活用していただいている。

西伯カントリーパーク　板井　隆議員

Q　施設整備について

A　施設改修計画の策定時期に来ている　教育長

板井　カントリーパークは、昭和62年に施設完成後30年近くがたっている。老朽化が進み公園の遊具も撤去されたままで、子どもたちの遊ぶ場所もないとの声も聞く。今後の施設整備について伺う。

①近年利用者の状況とニーズについて
②野球場防護ネットの安全性について
③テニスコート周辺の整備について
④公園の整備、特に遊具設置について
⑤トイレの改修（子ども用、洋式トイレの設置）について
④遊具については、

教育長　カントリーパークは現在、㈱ＴＫＳＳで委託管理がなされ、有効的な活用がなされているが、老朽化に伴い、修繕が増えている現状だ。

①利用者のニーズは指定管理者を通して届いており、できる対応をしている。
②野球場の防護ネットは近年の硬式野球の利用拡大で、周辺の安全上の観点から、喫緊の課題である。
③テニスコートの応援席や東屋は毎年点検をしながら、計画的に修繕をしたい。
④遊具については、今後の周辺整備計画で現場所も考えながら進めたい。
⑤公園内トイレは、子ども用トイレや洋式トイレの整備は必要な対応と考える。

今後、施設全体の根本的な改修計画を策定する時期に来ていると認識している。

西伯カントリーパーク

景山　現代の子どもや教育を取り巻く環境は大きく変化してきている。

家族関係の希薄化や、兄弟や近所の友達がいないことによる人間関係力の未形成の問題。それに起因するいじめや不登校、学力低下の問題。更には子どものいる家庭の低所得問題など、複雑さや対応の難しさが増してきている。

まずは家庭の教育力の強化が必要と思うが、この四年間の成果と課題は？

教育政策の成果と課題　景山　浩議員

Q　家庭の教育力強化が必要では

A　個別対応可能な体制を整備　教育長

教育長　家庭教育の推進については、専任の家庭教育推進員を配置して重点施策として取り組んできた。子育て支援にかかわる健康福祉課や関係機関と連携しながら、現状把握や目標を共通理解し、施策を進めてきた。

学習機会の提供や場づくりで、一定の成果が出てきているが、未だ十分とは言えない実態がある。

子育て支援や保育園、教育関係者が一体となってよりきめ細かな個別対応ができる体制を構築していくことが今後の課題であると認識している。

地域振興区制度　真壁容子議員

Q　法人化を進める理由は

A　事業受託や寄付が受けやすくなる　町長

真壁　町長は今後、地域振興協議会（以後協議会）を小規模多機能自治組織の法人化として国に求めたいと言っている。

協議会については、費用の問題、住民自治組織といえるのか、町からの仕事の押し付けではないかの声が上がっている。

これまでの費用の総額を問う。現時点で費用対効果をどう考えているか。

また、小規模多機能自治組織として法人化を進める理由は何か問う。

町長　これまで９年間の支出経費は、事業費２億３１３０万３７５９円、人件費２億９９１２万６９２円、その内、正副会長報酬が９４１６万８１３円だ。

地域づくりを費用対効果で表すのは非常に難しく、協議会の活動実績がその効果であると考えている。

法人格を取得すれば、団体名義の契約や登記が可能になり、

社会的信用が高まれば、委託事業の受託や寄付を受けやすくなることがあげられる。現法人制度には、協議会に適したものがなく新基準の制定が求められる。取得が可能になれば、経済活動などの深化を目指される協議会においては、多様な事業展開が可能になり、地域の発展が期待される。

子育て支援　亀尾共三議員

Q　教育費の増額を求める

A　社会情勢も踏まえ何らかのお手伝いが必要と思う　教育長

亀尾　お金の使い方の根本について、特に教育費の増額を求めて問う。

具体的な策として、学級費と教育費の無料化を小・中学生の全てに実施することを求める。小・中学生は義務教育であり負担をかけないのが、原則ではないだろうか。もう一つは、学校給食費の無料化を求める。

子育て支援を図ることが人口の流失を止め、逆に人口を増やすことと考える。27年度の決算は実質収支で一億８千万円の黒字である。以前の議会の答弁では、小学生全員に学級費・教育費を負担、４７０万円で実施が可能、給食費の無料化は、５千万円で出来ると示された。１億８千万円の黒字からすれば、財源が困難と言えないのではないか。

教育長　学級費・教育費の、町負担への移行は、財政状況も加味しながら小学三年生までは、一般的に保護者の年齢が若い世帯の負担軽減を図ることを狙いとしている。給食費は食という保護者としての義務の範疇に属する経費であり、かかる費用に補助をすることや、一定の所得に満たないご家庭に公費で賄うことは、施策として成り立つと認識をしているが所得額の多少を問わず無料にすることは賛同しかねる。学級費・教材費それから給食費を、黒字だから町で負担をどうかという提案だが、私は金があるから、それならこれを充てようということにはならないだろうと思われる。しかし、保護者の皆さん方の学校教育にかかわる様々なご負担については、昨今の社会情勢も踏まえて、何らかのお手伝いをさせていただく必要があるだろうなと、基本的には思っている。

町長勇退

細田元教議員

Q 町長職二十一年余の総括を求める

A 町民の皆様の御判断に委ねる　町長

細田　平成7年に旧西伯町から町長になられ、合併後も含め21年余、町長職を務めて来られた。さまざまな施策をされて南部町を一歩でも前進させるよう頑張って来られた。この21年余の色々な施策を行われた町長に総括を求めたい。

町長　政治家は自ら総括するのではなく町民の皆様の御判断に委ねるべきと中曽根元総理が言われていたことに尽きると思う。過去の事業で印象的なものは、福祉に地方分権、住民自治を絡めて色々な事業を積極的に取り組んで来た事。

主なものは、介護保険の南部箕蚊屋広域連合の発足。旧西伯町と旧会見町が合併。天萬図書館、富有まんてんホールの新設。天皇皇后両陛下を仰ぎ全国植樹祭の開催。地方自治を住民の手にとの思いで七つの地域振興協議会を発足。

最後に財政の健全化をなし遂げる事が出来たと思っている。

退任された坂本元町長

西部町村議員研修会報告

８月31日に日野町文化センターで、自治功労者表彰及び西部町村議員研修会が開催されました。

南部町議会議員では通算して11年以上在職し功労のあった議員として、植田均前議員が表彰を受けられた。

午後は会場を江府町に移し、議員親善グランドゴルフ大会が開催され、南部町議会は健闘むなしく、入賞を逃した。

植田均前議員表彰を受ける

研修会では、鳥取県農林水産部長木下悟氏より「ＴＰＰ発効を見据えた県内農林水産業の活力増進」と題して、講演会があった。

講演はＴＰＰ協定の内容と発効までの想定スケジュール、協定署名の現在の動向についての見解があった。更に、発効後の国、県における農産物品目ごとの影響試算等、細部にわたっての説明があった。

最後に、県の対応について、特に県西部地域における農・畜・林産品等のＴＰＰ関連対策についての講演で、農産品については特産物の拡大と団地化形成、新規就農者への総合支援と中山間地域への水田農業の維持・発展支援などについて説明があった。

いずれにしても今後、厳しい状況下での県の対応策の講演であった。

木下悟農林水産部長

発議案:南部町議会として

参議院選挙の合区の見直しに関する決議

参議院の選挙制度は、いく度かの制度改正を経て、現在の選挙区選挙と比例代表選挙による選挙が行われているが、地域代表としての各都道府県単位の選挙区という制度は堅持されてきていた。

今般、憲政史上初めて都道府県を越えた合区による選挙が実施されたところであるが、意思形成を図る上で都道府県が果たしてきた役割を考えたとき、都道府県ごとに集約された意思が参議院を通じて国政に届けられなくなるのは非常に問題であるとともに、地方の活性化に逆行しているとの批判もあるところである。

我が「鳥取県及び島根県選挙区」においては、過去最低の投票率となり、また、自県を代表する議員が出せなかったことなど、合区を起因とした弊害も顕在化したところである。

国においては、昨年の改正公職選挙法附則第7条において、「平成31年に行われる参議院議員の通常選挙に向けて、参議院の在り方を踏まえて、選挙区間における議員１人当たりの人口の較差の是正等を考慮しつつ選挙制度の抜本的な見直しについて引き続き検討を行い、必ず結論を得るものとする。」とされている。

国においては、昨年の改正公職選挙法附則第7条において、「平成31年に行われる参議院議員の通常選挙に向けて、参議院の在り方を踏まえて、選挙区間における議員１人当たりの人口の較差の是正等を考慮しつつ選挙制度の抜本的な見直しについて引き続き検討を行い、必ず結論を得るものとする。」とされている。

決議とは

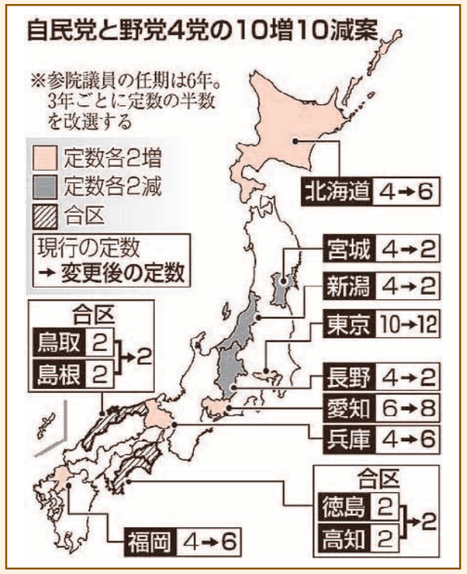
町民生活に直接かかわる緊急、重大な事項に関し、政治的効果をねらい、また、議会の意思を対外的に表明するために行う議会の議決のことをいいます。

我々南部町議会は、この参議院選挙制度の抜本的見直しにあたっては、国と地方が一層連携を強め、地方の活性化を推進していくためにも、単に人口の多寡にかかわらず、地方の意見を十分国政に反映できる地方の活性化にふさわしい仕組みを構築すべきであり、合区を見直して都道府県から代表が国政に参加することが可能な選挙制度とされるよう、強く要請する。

以上、決議する。

平成28年9月27日

鳥取県西伯郡南部町議会



議会活動日誌

7月

日	曜日	会議・行事
1	金	広報委員会
2	土	全国ホタル研究会鳥取県よなご大会
4	月	西部議長会監査
		鳥取県町村議会議長会定期総会・懇談会
6	水	「社会を明るくする運動」西伯郡研究大会
7	木	ﾄｯﾌﾟﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾐﾅｰ「企業の地方拠点強化に向けた環境整備」
8	金	ﾄｯﾌﾟﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾐﾅｰ「企業の地方拠点強化に向けた環境整備」
		西部議長会臨時総会並びに連絡会
13	水	第2回ミカエル･セミナー
14	木	広報委員会
		ハンリム大学生ホームステイ歓迎会
20	水	2016年原水爆禁止国民平和大行進
		第10回西部地区G･G男女ペア大会
		広報委員会
		行政視察受入　宮城県大郷町議会
21	木	森林環境税総会定期総会
22	金	森林環境税総会定期総会
26	火	西部町村議会正･副議長、局長研修会
27	水	鳥取県反核･平和の火リレー

8月

日	曜日	会議・行事
3	水	西部広域行政管理組合議会臨時会
7	日	部落解放同盟南部町協議会並びに南部町同和事業推進協議会
8	月	日吉津村他2か町下水道協議会総会
9	火	行政視察受入　山口県萩市議会
18	木	西部町村議長会行政調査 福島･会津若松
19	金	西部町村議長会行政調査 福島･会津若松
20	土	西部町村議長会行政調査 福島･会津若松
22	月	議会運営委員会
		南部町･伯耆町清掃施設管理組合議会
25	木	南部箕蚊屋広域連合議会定例会
26	金	全員協議会･臨時議会
31	水	自治功労者表彰式並びに議員研修会

法勝寺児童館

開館以降、連日たくさんの来館者で賑わっています。平日の午前中は乳幼児を連れたお母さん方が来館されます。施設は元保育園だったこともあり、安心して過ごせる環境が好評です。天気が良い日は、裸足でも安全な手入れの良く行き届いた芝生の庭でのびのびと過ごせます。

放課後の時間帯になると、ランドセルを背負った子ども達が次々とやってきます。先ずは宿題を済ませると、それぞれが好みの遊びで楽しい時間を過ごします。野球盤、オセロ、将棋、人生ゲームなど、相手がいないとできない遊びが大人気です。夕方近くになると部活帰りの中学生が立ち寄ります。小学生と同じように卓球やボードゲームで遊ぶ子もいますが、問題集を広げて勉学に励む姿も見られます。

土曜日には、早朝から弁当持参の子ども達で賑わいます。そして、子ども達が企画や運営を行う卓球やバドミントンなどの大会が開催されます。来館を重ねることで子ども達には自主性が育ち、学年を越えた仲間作りも出来ていくようです。

また、時には芝生の庭で地域の皆さんと子ども達でグランドゴルフを行うこともあります。

ご来館がまだの皆さんは、お気軽にお越しいただき、子ども達の様子をご覧いただければと思います。

法勝寺児童館 館長　杉 本 正 春

あとがき

◆去る10月16日、南部町議会議員選挙が行われ現職9人、元職1人、新人4人が当選を果たし、新しい南部町議会を構成することとなりました。

地方治自体を取り巻く財政、福祉、教育、そして少子高齢化問題など、年を経るごとに厳しさを増している中、選挙戦を通して多くの町民の皆様からいただいたご要望や叱咤激励の声を胸に、各人が描く南部町のあるべき姿を実現すべく4年間の任期に踏みだしました。

議会議員としての責任の重さを噛みしめながら最善の結論を導き出せる議会にならねばと考えています。（仲田）

広報常任委員会

委員長　仲田　司朗
副委員長　荊尾　芳之
委員　景山　浩
〃　三鴨　義文
〃　白川　立真
〃　長束　博信
〃　滝山　克己
〃　加藤　学

平成28年11月30日発行